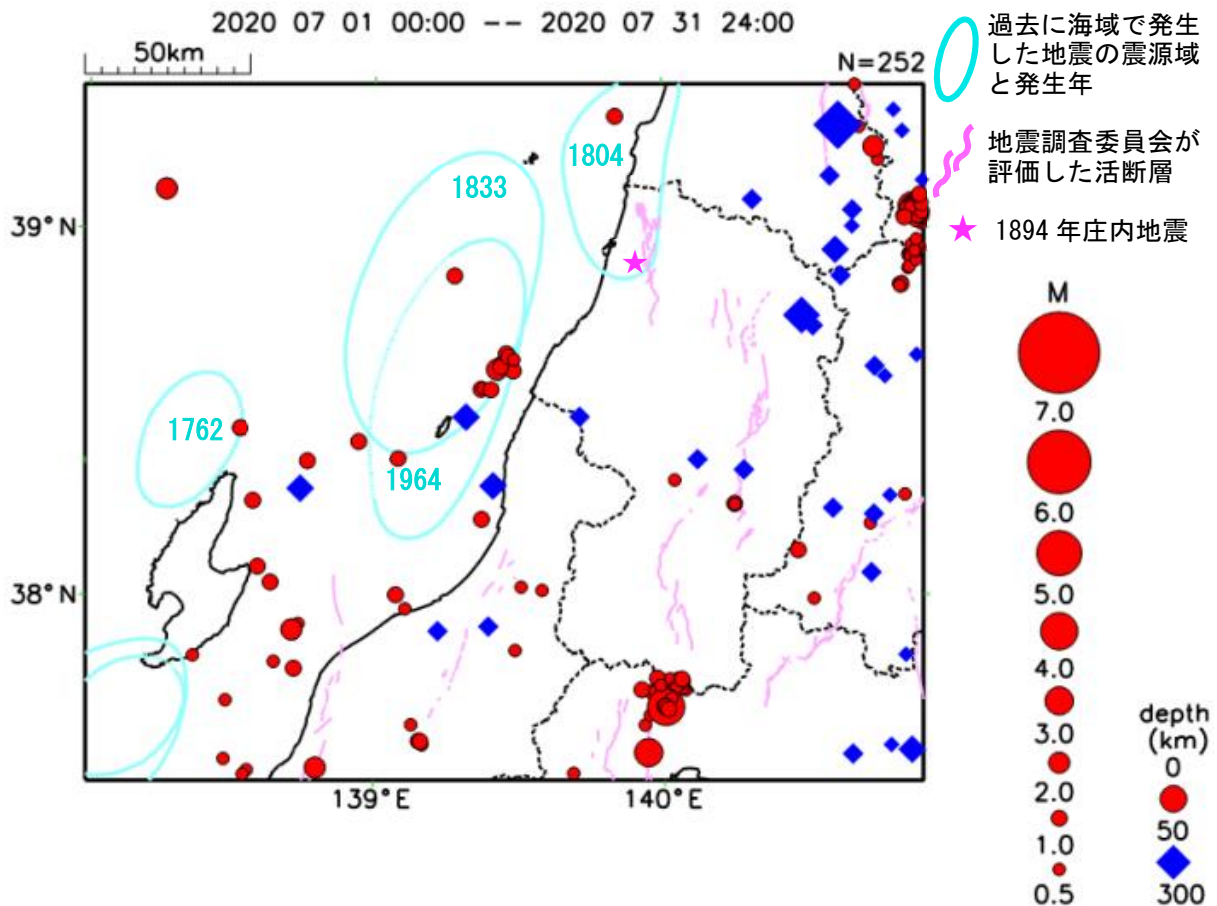


山形県月間地震概況（2020年7月）

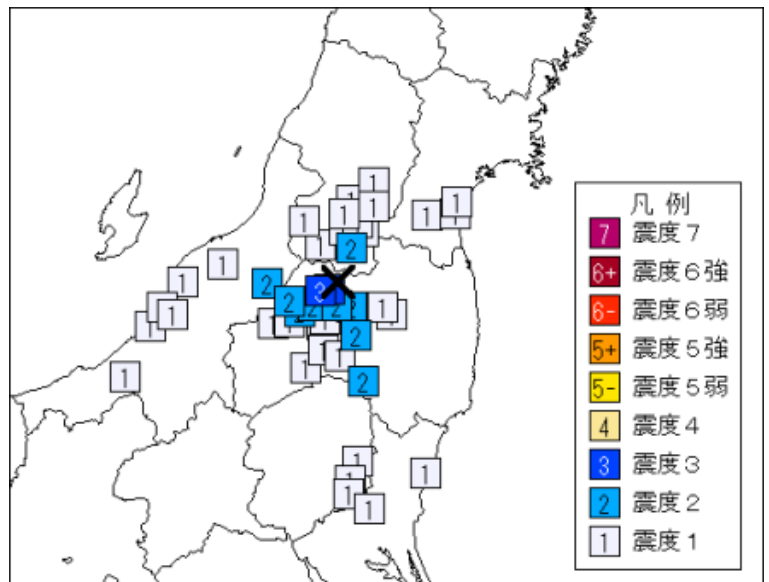
山形地方気象台



【概況】

この期間、山形県とその周辺（上図の範囲内）で観測した地震は252回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は3回（前期間3回）であった。

25日19時39分に福島県会津の深さ7kmでM4.2の地震（右図）が発生し、福島県喜多方市と北塩原村で震度3を観測したほか、東北地方南部、新潟県、栃木県および茨城県で震度2～1を観測した。県内では、米沢市で震度2を観測したほか、村山、置賜で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

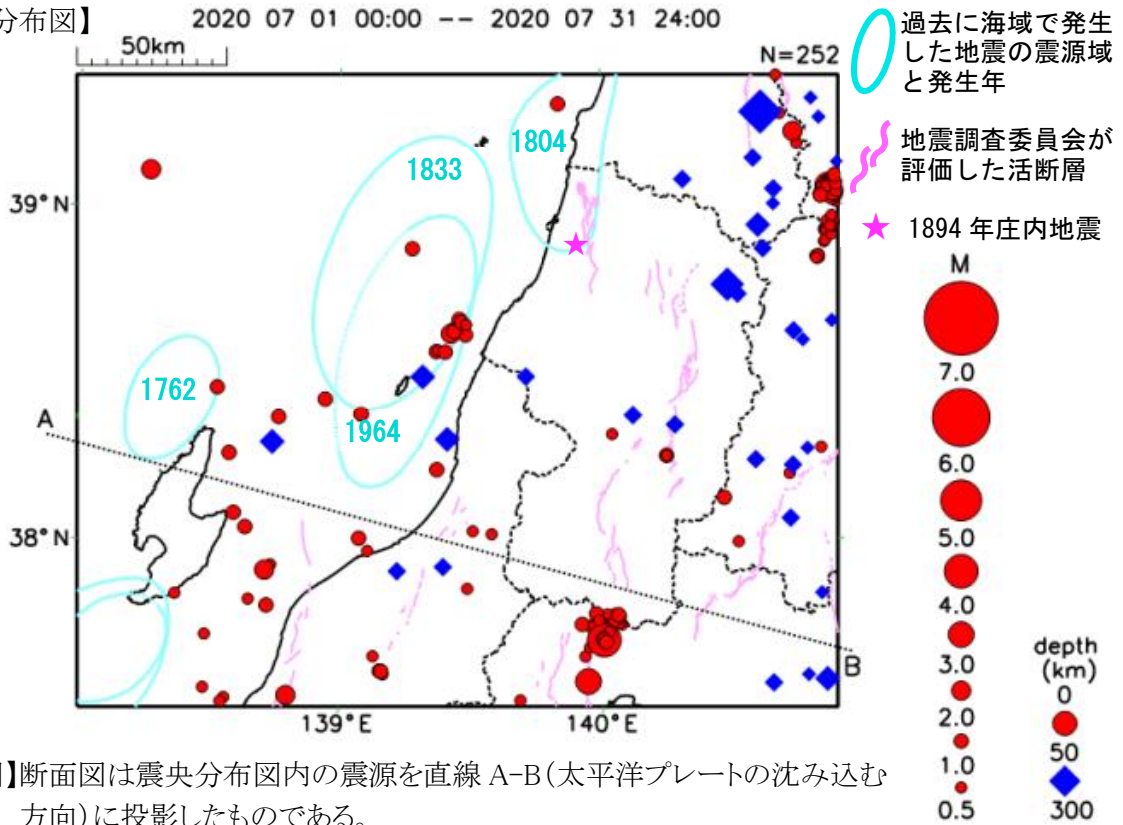


25日19時39分に福島県会津で発生した地震(M4.2)の震央(×)と市町村別震度

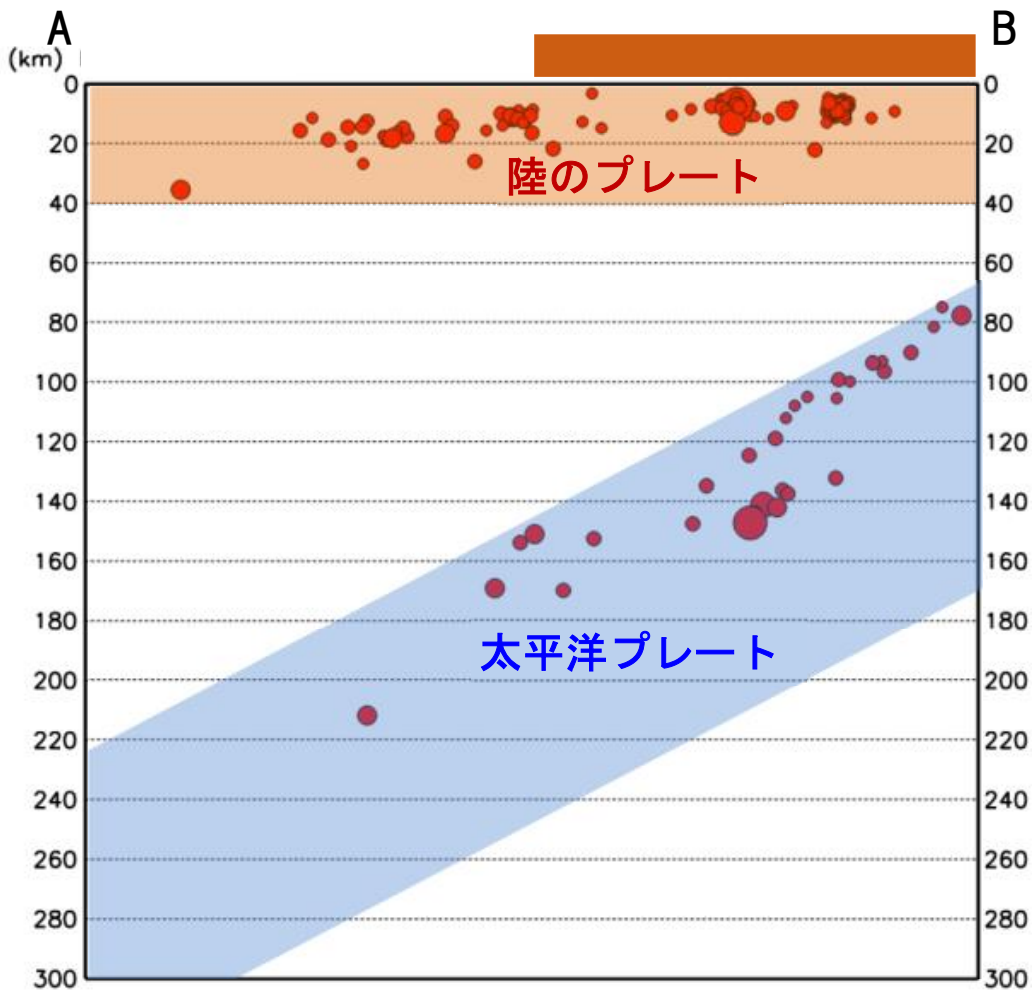
※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2020年7月1日～2020年7月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2020年07月03日14時12分	福島県沖	37° 30.4' N	141° 34.3' E	46km	M4.9
山形県	震度 1	：上山市河崎* 中山町長崎* 河北町谷地 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 米沢市金池* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*			
2020年07月17日13時49分	福島県沖	37° 33.8' N	141° 37.3' E	46km	M4.6
山形県	震度 1	：上山市河崎* 河北町谷地 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*			
2020年07月25日19時39分	福島県会津	37° 42.0' N	140° 00.2' E	7km	M4.2
山形県	震度 2	：米沢市林泉寺*			
	震度 1	：上山市河崎* 山辺町緑ヶ丘* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市金池* 長井市ままの上* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 山形小国町岩井沢 山形小国町小国小坂町* 白鷹町荒砥* 飯豊町上原*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

災害発生時の安否確認方法

災害が発生したときに、家族や友人、職場の同僚たちと連絡を取る手段を決めていますか？

地震などの大きな災害が発生すると、被災地への電話が殺到し、回線が大変混雑し、つながりにくくなります。このようなときに通信の混雑の影響を避けて、家族や友人との間で安否の確認や、避難場所の連絡等を行うため、固定電話・携帯電話・インターネットで「災害用伝言サービス」を活用することができます。

災害用伝言ダイヤル（171）

災害時に、固定電話や携帯電話等の電話番号宛に安否情報を音声で録音し、全国からその音声を確認することができます。

「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作します。伝言の録音・再生は、被災地の方の電話番号（市外局番で始まる電話番号、携帯電話・PHSの電話番号、IP電話の電話番号）、が対象です。伝言録音時間は、1伝言当たり30秒以内です。

災害用伝言板

インターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字で登録し、携帯電話・PHS番号をもとにして全国から伝言を確認できます。現在の状態について「無事です」「避難所にいます」等の状況と、任意で100文字以内のコメントを登録できます。登録された安否情報の確認は、他社の携帯電話やスマートフォン、パソコンからも確認できます。

災害用伝言板（Web171）

パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話などの電話番号を入力して、安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができます。

1伝言あたり100文字まで登録できます。

災害用伝言板（web171）の詳細については、NTT東日本・西日本のページをご覧ください。

災害用音声お届けサービス

携帯電話各社の専用アプリをインストールしたスマートフォン等の端末から、音声メッセージを送信することができるサービスです。

音声伝言は、1伝言あたり30秒まで登録できます。

専用アプリは、携帯電話各社のホームページなどで確認してください。

これらの「災害用伝言サービス」は、災害発生時に電気通信事業者により自主的に運用されるものですが、以下の体験利用日にも運用されており、体験することができます。

- ・ 毎月1日、15日
- ・ 正月三が日（1月1日～3日）
- ・ 防災とボランティア週間（1月15日～21日）
- ・ 防災週間（8月30日～9月5日）

家族や友人、職場の同僚たちと災害時の安否確認方法を予め決めておき、体験利用日に使い方を確認し、いざという時のために備えるようにしましょう。